

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知開成専門学校
設置者名	学校法人日翔学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科（1年生）	夜・通信	2160 単位時間 (70 単位)	240 単位時間 (9 単位)	
	看護学科（2・3年生）	夜・通信	2205 単位時間 (70 単位)	240 単位時間 (9 単位)	
工業専門課程	高度システム開発科	夜・通信	3420 単位時間 (114 単位)	320 単位時間 (12 単位)	
	システム開発科	夜・通信	1530 単位時間 (51 単位)	160 単位時間 (6 単位)	
	I T 情報科	夜・通信	420 単位時間 (14 単位)	160 単位時間 (6 単位)	
	総合研究科	夜・通信	2280 単位時間 (76 単位)	160 単位時間 (6 単位)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04PractitionerTeacher.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04PractitionerTeacher.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高知開成専門学校
設置者名	学校法人日翔学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-05BoardMember.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-05BoardMember.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	くろしお通信サービス (株) 代表取締役社長	2022. 5. 26 ～2025. 5. 25	学校運営及び情報 通信教育に関する 支援
非常勤	医療法人恕泉会 内田脳 神経外科 理事長	2022. 5. 26 ～2025. 5. 25	学校運営及び医 療・看護教育に関 する支援
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知開成専門学校
設置者名	学校法人日翔学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p>	
<p><b>(1) 教育編成委員会の実施</b>                  実践的、専門的な職業教育を行うため、企業や団体等と連携して教育の質の向上を図っている。そのため、企業や団体等より委員を招聘し、業界の現状や企業の求める人材、専門知識や技術等の修得について指導助言を受け、授業科目や指導方法について改善を行っている。</p>	
<p><b>(2) 教育課程の編成と「シラバス」の作成・公表</b>                  教育課程編成委員会の指導助言を受け、カリキュラムや授業内容を変更して新年度の教育課程の編成を行っている。医療専門課程、工業専門課程の各課程の「シラバス」を新年度を迎える前の2月・3月に作成し、年度始めのオリエンテーションで全学生に配布して説明するとともに、ホームページでも閲覧できるように公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護学科 1年前期  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_01Zenki.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_01Zenki.pdf</a></li> <li>●看護学科 1年後期  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_01Kouki.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_01Kouki.pdf</a></li> <li>●看護学科 2年前期  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_02Zenki.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_02Zenki.pdf</a></li> <li>●看護学科 2年後期  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_02Kouki.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_02Kouki.pdf</a></li> <li>●看護学科 3年前期  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_03Zenki.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_03Zenki.pdf</a></li> <li>●看護学科 3年後期  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_03Kouki.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04MedicalCare_syllabus_03Kouki.pdf</a></li> <li>●高度システム開発科、システム開発科、IT情報科、総合研究科・研究課程  <a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04Technology_syllabus.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-04Technology_syllabus.pdf</a></li> </ul>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位の認定は、7月（前期授業日程終了後）と1月（後期授業日程終了後）に実施する定期試験の点数と出席時数（または、出席率）で次の通りに判定し、学年末の成績会議で学校長が認定する。

**(1) 医療専門課程（看護学科）**

- 秀 …授業科目の試験が95点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者
- 優 …授業科目の試験が80点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者
- 良 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者
- 可 …授業科目の試験が60点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者
- 不可…授業科目の試験が60点以上未満の者、または、出席時数が3分の2未満の者

**(2) 工業専門課程（高度システム開発科・システム開発科・IT情報科）**

- 秀 …授業科目の試験が90点以上の者で、出席率95%以上の者
- 優 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席率85%以上の者
- 良 …授業科目の試験が50点以上の者で、出席率85%以上の者
- 可 …授業科目の試験が40点以上の者で、出席率85%以上の者
- 不可…授業科目の試験が40点以上未満の者、または、出席率85%未満の者

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標による成績評価を導入し、次の算定方法により、学生ごとの成績の平均を算出している。学修の結果を確認し、学生の学習意欲の向上のための指導に活用することを目的とする。

(1) 単位の認定で判定された5段階の評価に対し、グレード・ポイントを次のとおり付与する。

【秀】… 4.0、【優】… 3.0、【良】… 2.0、【可】… 1.0、【不可】… 0.0

(2) 単位当たり平均（GPA、グレード・ポイント・アベレージ）を次の計算式で算出する。

$$\text{GPA} = (4.0 \times \text{秀の単位数} + 3.0 \times \text{優の単位数} + 2.0 \times \text{良の単位数} + 1.0 \times \text{可の単位数}) \div \text{履修単位数}$$

(注) GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入する。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2019-04GradeEvaluation.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2019-04GradeEvaluation.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 卒業の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <p>① 医療専門課程（看護学科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年間の履修科目の103単位を全て修得し、かつ授業時数が3,015時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> </ul> <p>② 工業専門課程（高度システム開発科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4年間の修得単位が132単位以上かつ授業時数が3,960時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> <li>● 検定を15ポイント以上取得していること</li> </ul> <p>③ 工業専門課程（システム開発科・IT情報科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年間の修得単位が66単位以上かつ授業時数が1,980時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> <li>● 検定を15ポイント以上取得していること</li> </ul> <p>④ 工業専門課程（総合研究科・研究課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学士を取得していること。又は、2年間で本校の修得単位が66単位以上かつ授業時数が1,980時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> </ul>	

(2) 各学科の卒業時の到達目標は次の能力や技術の修得である。

① 医療専門課程（看護学科）

- 対象を全人的に捉え、専門職業人としての倫理観を持って行動できる力
- 科学的根拠に基づいて看護を実践する力
- 保険医療福祉チームの中で、看護専門職の役割と機能を果たす力
- 専門職業人として、最新知識・技術を自ら学び続ける力

② 工業専門課程（高度システム開発科）

- 最先端のプログラミング手法や開発技術・技能
- 最新の情報セキュリティやIT技術
- 国家資格「応用情報技術者」や「情報処理安全確保支援士」などの取得
- 情報システムを構築するための知識・技能

③ 工業専門課程（システム開発科）

- C言語、Javaなどのプログラム言語
- CSS、html5などWebページを構築するためのプログラミング言語
- PhotoshopやIllustratorを利用した画像の加工・作成技術
- システムの仕組みを理解し、自らシステムを作る力
- ウイルス対策など、ネットワークで必要なセキュリティ技術

④ 工業専門課程（IT情報科）

- 判断推理や数的推理など、物事を柔軟かつ多角的に考察する力
- 文章表現力
- 社会人としても必要な一般教養を身に付け、視野を広める
- パソコン演習やビジネスマナーなど実社会適応技術
- 郷土に愛着を持ち、その郷土の発展を考えることのできる力

⑤ 工業専門課程（総合研究科・研究課程）

- 法律全般に関する知識
- 税務、会計、労務に関する知識

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

- 看護学科

[http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2019-04MedicalCare\\_Graduation.pdf](http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2019-04MedicalCare_Graduation.pdf)

- 高度システム開発科、システム開発科、IT情報科、総合研究科・研究課程

[http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2019-04Technology\\_Graduation.pdf](http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2019-04Technology_Graduation.pdf)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知開成専門学校
設置者名	学校法人日翔学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03BalanceSheet.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03BalanceSheet.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03ProfitAndLossStatement.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03ProfitAndLossStatement.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03PropertyList.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03PropertyList.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03jigyou_report.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03jigyou_report.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03kansa_report.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2022-0601R03kansa_report.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3060 時間単位 (1年生)	2055 時間単位		1005 時間単位		
		3060 単位時間					
		3015 時間単位 (2・3年生)	1980 時間単位		1035 時間単位		
		3015 単位単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		58人	1人	8人	人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<p>地域を活性化できる人材育成を理念とし地域で暮らす人々の健康生活の向上に貢献できる職業人としての看護実践能力を持った看護師を育成する。また、人への愛と尊厳を持ち、健全な社会性と豊かな人間性をもった社会人、科学的思考力と判断力をもった医療人として育つことができる看護師を育成することを目的とする。</p> <p>【学習スケジュール】 1年次：学内での講義や演習を行い、8月には「基礎看護学実習Ⅰ」、1月には</p>

<p>「基礎看護学実習Ⅱ」を実習施設にて臨地実習を実施する。</p> <p>2年次：学内での講義や演習を行い、2月・3月には「成人看護学実習」を実習施設にて臨地実習を実施する。</p> <p>3年次：4月～9月は実習施設にて臨地実習を行い、10月から学内での講義や国家試験対策の勉強、卒業研究発表会に向けた論文作成などを行い、2月に看護師国家試験を受験する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>単位の認定は、7月（前期授業日程終了後）と1月（後期授業日程終了後）に実施する定期試験の点数と出席時数で次の通りに判定し、学年末の成績会議で学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秀 …授業科目の試験が95点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者</li> <li>● 優 …授業科目の試験が80点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者</li> <li>● 良 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者</li> <li>● 可 …授業科目の試験が60点以上の者で、出席時数が3分の2以上の者</li> <li>● 不可…授業科目の試験が60点以上未滿の者、または、出席時数が3分の2未滿の者</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年間の履修科目の103単位を全て修得し、かつ授業時数が3,015時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> </ul> <p>進級の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各年次の全ての授業科目の単位を修得し、各授業科目の出席時数が3分の2位以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済みであること</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>複数担任制を導入し、学生が学業などの悩みを相談できるようにし、面談での対応と補習の実施などを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	人 ( %)	31人 (100%)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
<p>(医)川村会 川村病院、(医)精華園 海辺の杜ホスピタル（2名）、(医)野並会 高知病院（2名）  (医)尚賢会 高知高須病院、(医)久会 函南病院（2名）、(医)みつる会 高知脳神経外科病院、  (社医)仁生会 細木病院（2名）、独立行政法人地域医療機能推進機構 高知西病院（2名）、  日本赤十字社 高知赤十字病院、高知医療生協病院、(医)恕泉会 内田脳神経外科病院、  (医)白菊会 白菊園病院（2名）、(医)瑞洋会 田中整形外科病院、  (医)社団晴緑会 高知総合リハビリテーション病院、高知県立あき総合病院、  (医)白井会 田野病院、高知県厚生農業協同組合連合会 JA 高知病院（2名）、  土佐市立市民病院（2名）、(社医)石川記念会 H I T O病院（3名）、  (社医)藤井会 石切生喜病院、兵庫医科大学病院</p>			
(就職指導内容)			
<p>「複数担任制」や「学生支援センター設置」で学生が相談しやすい環境と就職サポート体制を整えている。毎年4月には「病院奨学金貸与説明会」を実施し、学生への個別相談や病院見学、履歴書作成や面接指導なども行っている。公立病院を希望する学生に対しては、公務員担当の教員が補習を実施し、公務員試験対策もできる環境を構築している。</p>			
(主な学修成果（資格・検定等））			
<p>看護師国家試験 … 【受験】31名、【合格】27名</p>			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	4人	5.9%
(中途退学の主な理由)		
学業不振、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生が学業などで悩みがあれば、すぐに相談できるように「複数担任制」を導入している。また、「学生支援センター」を設置し、就職・進学相談だけでなく、学費支援やその他の悩み相談なども受け付け、教職員が親身になって相談に応じている。四者面談の実施や後援会総会、ホーム懇談会を通じて、保護者と協力をして学生を支える仕組みも作り、学校生活の状況なども保護者と密に連絡を取っている</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度システム開発科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3960 単位時間	2550 単位時間	2010 単位時間			
			4560 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		11人	人	5人	人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
<p>(概要)</p> <p>実際に開発現場で活躍されているプロの指導を仰ぎながら、将来の開発現場で活躍できる人材を育てる。より早く、かつ正確に処理するための仕組みやデータを有効活用するための手法などを考えたり、コンピュータで実際に構築する経験を積むことで、工学的な解決ができる力を養う。</p> <p><b>【学習スケジュール】</b></p> <p>1年次：情報処理の基礎を学び、資格試験に積極的に取り組む。 コンピュータプログラミングに必要な基本アルゴリズムとC言語、ITの全般的な知識など情報処理（コンピュータ）に必要となる基本的な学習を行う。</p> <p>2年次：演習と実習を通じて、より専門的な知識を修得する。 システム設計全般の設計技術やシステム開発における実践的なプログラム・開発・テスト技法、SQLによるデータベース操作の基礎技術を学ぶ。</p> <p>3年次：授業内で、自分達で考案したシステム設計をする。その際、環境構築、設計、開発、評価といった企業で実際に行われている開発の流れを学び、実務力を身に付ける。また、体験したことを学習に活かし、高資格の取得を行う。</p> <p>4年次：企業現場での実地訓練を行う。データベースの操作技術やSQLコマンド、ネットワーク環境の構築技術、ネットワークアプリケーションの開発技術を学ぶ。情報セキュリティ技術を深く学び、攻撃・防御の実習を通して、ホワイトハッカー技術を身に付ける。</p>					
成績評価の基準・方法					
<p>(概要)</p> <p>単位の認定は、7月（前期授業日程終了後）と1月（後期授業日程終了後）に実施する定期試験の点数と出席率で次の通りに判定し、学年末の成績会議で学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秀 …授業科目の試験が90点以上の者で、出席率95%以上の者</li> <li>● 優 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 良 …授業科目の試験が50点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 可 …授業科目の試験が40点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 不可…授業科目の試験が40点以上未滿の者、または、出席率85%未滿の者</li> </ul>					

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4年間の修得単位が132単位以上かつ授業時数が3,960時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> <li>● 検定を15ポイント以上取得していること</li> </ul> <p>進級の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年次の修得単位が33単位以上かつ授業時数が990時間以上であること</li> <li>● 2年次の修得単位が66単位以上かつ授業時数が1,980時間以上であること</li> <li>● 3年次の修得単位が99単位以上かつ授業時数が2,970時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済みであること</li> <li>● 検定ポイントは定めないが、標準より少ない場合は面談をして取得を促す</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>複数担任制の導入と、一般社団法人職業教育・キャリア教育財団認定の「キャリア・サポーター」の認定を受けた教職員が3名在籍し、学生支援センターの設置など、学生が相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	人 (%)	3人 (75%)	1人 (25%)
(主な就職、業界等)			
(株)パシフィックメディカル、(株)エイジェック、日本クリエイティブシステム(株)			
(就職指導内容)			
社会人基礎力を学ぶことを目的として、「社会コミュニケーション論」の授業科目で学習を進めていく。また、集中的に就職に向けての実力を上げる「就職研修」を年2回実施している。就職試験に臨む際には、履歴書作成や面接練習なども個別指導でしっかりサポートしている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
基本情報技術者試験	・・・	【受験】 8名、	【合格】 5名
Javaプログラミング能力検定	・・・	【受験】 3名、	【合格】 3名
情報セキュリティマネジメント試験	・・・	【受験】 8名、	【合格】 5名

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生が学業などで悩みがあれば、すぐに相談できるように「複数担任制」を導入している。また、「学生支援センター」を設置し、就職・進学相談だけでなく、学費支援やその他の悩み相談なども受け付け、教職員が親身になって相談に応じている。四者面談の実施や後援会総会、ホーム懇談会を通じて、保護者と協力をして学生を支える仕組みも作り、学校生活の状況なども保護者と密に連絡を取っている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	システム開発科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1980 単位時間	1470 単位時間	810 単位時間			
			2280 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		15人	人	5人	人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要)	
<p>最新のシステム構築に関する技術やC言語を中心とした様々な言語の修得、論理的思考力の修得など、企業が求める技術や知識を身につける。実践を通じてデザインや美的センスなどの感性面を加え、様々なIT業界で活躍できる力を身につける。</p>	
<b>【学習スケジュール】</b>	
1年次：情報処理の基礎を学び、資格試験に積極的に取り組む。 コンピュータプログラミングに必要な基本アルゴリズムとC言語、ITの全般的な知識など情報処理(コンピュータ)に必要な基本的な学習を行う。	
2年次：演習と実習を通じて、より専門的な知識を修得する。 システム設計全般の設計技術やシステム開発における実践的なプログラム・開発・テスト技法、SQLによるデータベース操作の基礎技術を学ぶ。	

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>単位の認定は、7月（前期授業日程終了後）と1月（後期授業日程終了後）に実施する定期試験の点数と出席率で次の通りに判定し、学年末の成績会議で学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秀 …授業科目の試験が90点以上の者で、出席率95%以上の者</li> <li>● 優 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 良 …授業科目の試験が50点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 可 …授業科目の試験が40点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 不可…授業科目の試験が40点以上未滿の者、または、出席率85%未滿の者</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年間の修得単位が66単位以上かつ授業時数が1,980時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済であること</li> <li>● 検定を15ポイント以上取得していること</li> </ul> <p>進級の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年次の修得単位が33単位以上かつ授業時数が990時間以上であること</li> <li>● 学納金が全額納入済みであること</li> <li>● 検定ポイントは定めないが、標準より少ない場合は面談をして取得を促す</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>複数担任制の導入と、一般社団法人職業教育・キャリア教育財団認定の「キャリア・サポーター」の認定を受けた教職員が3名在籍し、学生支援センターの設置など、学生が相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	人 ( %)	9人 (100%)	人 ( 0%)
(主な就職、業界等)			
(株)ミロク製作所、高知ケーブルテレビ(株)、(有)スリーエフカンパニー、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)、正和電機(株)、(株)三陽荘、(株)ヤマダデンキ、(株)エイジェック (2名)			

(就職指導内容)		
<p>社会人基礎力を学ぶことを目的として、「社会コミュニケーション論」の授業科目で学習を進めていく。また、集中的に就職に向けての実力を上げる「就職研修」を年2回実施している。就職試験に臨む際には、履歴書作成や面接練習なども個別指導でしっかりサポートしている。</p>		
(主な学修成果(資格・検定等))		
応用情報技術者試験	・・・	【受験】 2名、【合格】 1名
基本情報技術者試験	・・・	【受験】 17名、【合格】 3名
J a v a プログラミング能力検定	・・・	【受験】 8名、【合格】 2名
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
(中途退学の主な理由)		
学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生が学業などで悩みがあれば、すぐに相談できるように「複数担任制」を導入している。また、「学生支援センター」を設置し、就職・進学相談だけでなく、学費支援やその他の悩み相談なども受け付け、教職員が親身になって相談に応じている。四者面談の実施や後援会総会、ホーム懇談会を通じて、保護者と協力をして学生を支える仕組みも作り、学校生活の状況なども保護者と密に連絡を取っている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	I T情報科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1980 単位時間	1740 単位時間	540 単位時間		
			2280 単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人	5人	人	3人	人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
<p>国や地方に貢献できる公務員を育成する。公務員として社会で活躍できることを目的とするため、単に公務員試験に合格するだけでなく、一社会人として必要な素養も身につける。試験対策では、徹底して過去問にあたるとともに、オリジナル問題も含め、類似問題を反復して行う。また、社会人教育の立場から作文・面接指導にも取り組む。さらに、パソコンなどのビジネス実務を修得することで、データ処理や数字に強い公務員を育成する。</p>					
<p><b>【学習スケジュール】</b></p> <p>1年次：公務員試験合格のための内容を基礎から学習し、夏期集中授業や毎週1回模擬試験を行う。また、WordやExcelの基礎、ビジネスマナーも学習する。</p> <p>2年次：公務員試験対策では、過去問題を中心に学習し、面接指導も行い確実に合格へと導く。また、公務員試験の学習と同時にWord、Excel、PowerPointなどの検定合格を目指す。</p>					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
<p>単位の認定は、7月（前期授業日程終了後）と1月（後期授業日程終了後）に実施する定期試験の点数と出席率で次の通りに判定し、学年末の成績会議で学校長が認定する。</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 秀 …授業科目の試験が90点以上の者で、出席率95%以上の者</li> <li>● 優 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 良 …授業科目の試験が50点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 可 …授業科目の試験が40点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 不可…授業科目の試験が40点以上未満の者、または、出席率85%未満の者</li> </ul>					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
<p>卒業の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年間の修得単位が66単位以上かつ授業時数が1,980時間以上であること</li> </ul>					

<ul style="list-style-type: none"> <li>●学納金が全額納入済であること</li> <li>●検定を15ポイント以上取得していること</li> </ul> <p>進級の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1年次の修得単位が33単位以上かつ授業時数が990時間以上であること</li> <li>●学納金が全額納入済みであること</li> <li>●検定ポイントは定めないが、標準より少ない場合は面談をして取得を促す</li> </ul>
学修支援等
(概要)
<p>複数担任制の導入と、一般社団法人職業教育・キャリア教育財団認定の「キャリア・サポーター」の認定を受けた教職員が3名在籍し、学生支援センターの設置など、学生が相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	人 (%)	7人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
大豊町役場、中土佐町役場、JA高知県、藤本塗料興業(株)、(株)ほっかほっかフーズ、(株)ネクステージ(2名)			
(就職指導内容)			
社会人基礎力を学ぶことを目的として、「社会コミュニケーション論」の授業科目で学習を進めていく。また、集中的に就職に向けての実力を上げる「就職研修」を年2回実施している。就職試験に臨む際には、履歴書作成や面接練習なども個別指導でしっかりサポートしている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス・・・【合格】 8名 サーティファイ Word 文書処理技能認定試験・・・【合格】 5名 サーティファイ Excel 表計算処理技能認定試験・・・【合格】 8名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
(中途退学の主な理由)		
学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生が学業などで悩みがあれば、すぐに相談できるように「複数担任制」を導入している。また、「学生支援センター」を設置し、就職・進学相談だけでなく、学費支援やその他の悩み相談なども受け付け、教職員が親身になって相談に応じている。四者面談の実施や後援会総会、ホーム懇談会を通じて、保護者と協力をして学生を支える仕組みも作り、学校生活の状況なども保護者と密に連絡を取っている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	総合研究科			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1960 単位時間	1800 単位時間	600 単位時間		
			2400 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
6人		0人	人	2人	人	2人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
<p>(概要)</p> <p>中央大学法学部通信教育課程の西日本唯一の協力校であり、法学以外の経済学部、文理学部、商学部などは日本大学への選択肢がある。高知で学びながら「学士」と「専門士」の取得を目指す。2年間の専門課程教育の上に立って、大学3年次編入すると共に、総合研究科の研究課程に進学し、「学士」を取得する。</p> <p><b>【学習スケジュール】</b></p> <p>1年次：システム開発科で学習する。  2年次：システム開発科で学習し、「専門士」を取得する。  研究課程1年次：大学3年に編入して、専門的な知識を学ぶ。  ①中央大学法学部通信教育課程で積極的な単位取得をする。  ②日本大学通信教育課程で積極的な単位取得をする。  研究課程2年次：専門的な知識や教養を身につけ、「学士」を取得する。</p>					
成績評価の基準・方法					
<p>(概要)</p> <p>単位の認定は、7月（前期授業日程終了後）と1月（後期授業日程終了後）に実施する定期試験の点数と出席率で次の通りに判定し、学年末の成績会議で学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秀 …授業科目の試験が90点以上の者で、出席率95%以上の者</li> <li>● 優 …授業科目の試験が70点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 良 …授業科目の試験が50点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 可 …授業科目の試験が40点以上の者で、出席率85%以上の者</li> <li>● 不可…授業科目の試験が40点以上未満の者、または、出席率85%未満の者</li> </ul>					
卒業・進級の認定基準					
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学士を取得していること。又は、2年間の修得単位が66単位以上かつ授業時数が1,980時間以上であること</li> <li>●学納金が全額納入済であること</li> </ul>					

<ul style="list-style-type: none"> <li>●検定を15ポイント以上取得していること</li> </ul> <p>進級の認定の要件は次の通りで、学年末の成績会議において学校長が認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1年次の修得単位が33単位以上かつ授業時数が990時間以上であること</li> <li>●学納金が全額納入済みであること</li> </ul>
学修支援等
(概要)
<p>複数担任制の導入と、一般社団法人職業教育・キャリア教育財団認定の「キャリア・サポーター」の認定を受けた教職員が3名在籍し、学生支援センターの設置など、学生が相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門的な知識や技術を活かしつつ、深い知識と教養を活かした仕事</li> <li>●法的知識を活かした職種</li> <li>●学士（法学）の学位を取得することもでき、法科大学院へのステップアップも可能</li> </ul>			
(就職指導内容)			
<p>社会人基礎力を学ぶことを目的として、「社会コミュニケーション論」の授業科目で学習を進めていく。また、集中的に就職に向けての実力を上げる「就職研修」を年2回実施している。就職試験に臨む際には、履歴書作成や面接練習なども個別指導でしっかりサポートしている。</p>			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生が学業などで悩みがあれば、すぐに相談できるように「複数担任制」を導入している。また、「学生支援センター」を設置し、就職・進学相談だけでなく、学費支援やその他の悩み相談なども受け付け、教職員が親身になって相談に応じている。四者面談の実施や後援会総会、ホーム懇談会を通じて、保護者と協力をして学生を支える仕組みも作り、学校生活の状況なども保護者と密に連絡を取っている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	680,000 円	210,000 円	※その他 (教育充実費)
高度システム開発科	100,000 円	680,000 円	270,000 円	※その他 (教育充実費)
システム開発科	100,000 円	680,000 円	270,000 円	※その他 (教育充実費)
I T 情報科	100,000 円	680,000 円	190,000 円	※その他 (教育充実費)
総合研究科	100,000 円	680,000 円	190,000 円	※その他 (教育充実費)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2021-1208%20R02_jikohyouka_report.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2021-1208%20R02_jikohyouka_report.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>(1) 学校関係者評価の進め方</p> <p>① 自己評価の評価結果について、学校の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。</p> <p>② 各種の資料の検証や、学校の諸活動の観察等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。</p> <p>③ 具体的には、次の観点で評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る観点から、運営改善のための専門的助言を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自己評価の結果の内容が適切かどうか</li> <li>●自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか</li> <li>●学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか</li> <li>●学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか</li> </ul> <p>(2) 学校関係者評価の評価項目</p> <p>① 教育理念、② 学校運営、③ 教育活動、④ 学修成果、⑤ 学生支援、⑥ 教育環境、⑦ 学生の受入れ募集、⑧ 財務、⑨法令等の遵守、⑩ 社会貢献・地域貢献</p> <p>(3) 学校関係者評価委委員会の構成メンバー</p> <p>専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること等を目的として、次の中で委員を依頼し、委員会メンバーを構成している。</p> <p>① 卒業生、② 関係業界、③ 関係団体、④ 中学校・高校、⑤ 保護者・地域、⑥ 所轄庁など</p> <p>(3) 学校関係者評価結果の活用方法</p> <p>学校関係者評価結果を、学校運営会議や分野別会議にて全教職員に情報共有し</p>

て、学校関係者評価に基づいた改善方策を年間事業計画や教育・支援活動に反映し、学校運営に活用している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高知大学理学部教授 工学博士	2022. 2. 25～2024. 2. 24	教育関係
(医)治久会 もみのき病院 院長	2022. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
(株)C I Jほくでん 専務取締役	2021. 9. 1～2023. 8. 31	企業等委員
保護者(後援会会長)・高知市議会議員	2021. 9. 1～2023. 8. 31	保護者
卒業生・(株)C I Jほくでん	2021. 9. 1～2023. 8. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2021-1208%20R02_gakkoukankeisha_report.pdf">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/pdf/2021-1208%20R02_gakkoukankeisha_report.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="http://www.kcom.ac.jp/disclosure/disclosure.shtml">http://www.kcom.ac.jp/disclosure/disclosure.shtml</a>